

## 第50回 岡山県本部総会報告

2018年 6月30日 守る会岡山県本部

1. 開催日時 2018年 6月30日(土) 13時30分～15時30分
2. 開催場所 岡山国際交流センター 地下1階「レセプションホール」  
〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町2丁目2-1
3. 出席者全体 36名  
内訳 守る会会員 31名(内被患者 31名)  
その他 5名(来賓 5名)

### 4. 来 賓

- ①日本共産党岡山県議会議員 森脇久紀
- ②岡山県民主医療機関連合会事務局長 佐古ひろあき
- ③障害者の生活と権利を守る岡山連絡協議会事務局長 吉野一正
- ④岡山県救済対策委員長 井村 誠
- ⑤森永乳業(株)渉外部中国事務所長 市川元章



### 5. 祝電・メッセージ

- ①岡山県知事 伊原木隆太
- ②岡山県議会議長 伊藤 文夫
- ③ひかり協会理事長 前野直道(ひかり協会東中国センター長 武本直也代読)
- ④ひかり協会労働組合委員長 辻岡孝司(ひかり協会東中国センター宮崎 勝代読)
- ⑤守る会全国本部理事長 桑田正彦(守る会全国本部常任理事 入江弘代読)

### 6. 新役員

- 委員長 森脇良明  
副委員長 入江 弘(全国常任理事兼務)、真田博美(財政担当兼務)、  
吉田康子(ふれあい活動)  
事務局長 春木範子(自主的グループ活動)  
常任委員 岡 孝治(全国四役兼務)、徳田和夫、平松邦夫(救済対策委員・学習会担当)  
牛房紀晃、新谷 泉、榎谷多加代  
幹 事 入屋健二、渡邊桂子  
機関紙編集委員会  
備前支部 中村 久、長本秀美  
備中支部 平松邦夫、田辺綾子  
美作支部 中島恭子  
県本部 菅野孝明、吉田康子



### 7. 議案に対しての主な質問・意見、答弁の内容

(発言)・・・美作支部 岡代議員

全国総会神戸大会では来賓に大塚睦子さん、新妻義輔さんをお呼びし、貴重なお話をお聞きしましたが岡山でも、お元気なうちに県本部総会などにお呼びし、貴重な講演会を計画して欲しい。

(回答)・・・森脇

ひかり協会東中国センター事務所で、ブロック協力員会議を計画されており、その際に大塚睦子さん、新妻義輔さんの講演会を検討しているようなので守る会としては、それを待って計画したいと思います。

(発言)・・・備中支部 平松代議員

先日、6月18日(月)に大阪北部地震がありました。協会では被害者の皆さんの安否について情報収集を一生懸命したと思います。近い将来発生すると言われていた東南海地震が発生し岡山県内でも震度6程度の地震があった場合、協会や行政協力だけにたよるのではなく、守る会として、協力員として仲間を思う気持ちから何かできる事はないかと思っています。

今回発生した大阪北部地震で、大阪・京都の仲間がどんな取り組みを行ったのかを守る会本部四役、常任理事で調査し、参考にするなどして岡山でも検討して欲しいと思います。

(回答)・・・森脇

これまで、岡山県内では地震の被害はほとんどなく過ぎてきましたが、東南海地震を思う時そうも言っておれないと感じています。今回発生した大阪北部地震で大阪・京都の仲間が取り組んだ内容を調査し、今後の取り組みを検討したいと思います。

(発言)・・・備中支部 平松代議員

対策対象者名簿については、①被害者の名簿の写しが各市町村の協会との受付窓口課に設置されました。これは、これで活用すればよいと思いますが、65歳以降の取り組みになると地域の包括支援センターが窓口になって、全面的に相談にのってくれる体制ができるため、それを見越してできるだけ早い段階で被害者が住んでいる地域包括支援センターまで名簿をおろす取り組みを検討願います。

(回答)・・・森脇

現在、保健所を経由して各市町村の協会との連絡窓口課に①被害者を含め、名簿の写しが設置されております。現在の段階では、①被害者を含め全員の名簿の写しを地域包括支援センターに設置するのではなくて、要望のあった方の名簿を協会を通じて地域包括支援センターにおろす方法もあると思います。平松代議員から出されて意見については、今後検討します。

#### 8. 主な活動方針での提案

今回の県本部総会では、2017年度活動報告についてプロジェクターを使用し、「自主的グループ活動」「ふれあい活動」で撮りためた動画や写真を織り込み、スクリーンに投影し報告を行ったところ好評を得ました。

2017年度活動方針(案)では、「介護保険制度優先原則による障害のある被害者のみなさんの障害福祉サービスの質の低下・量の不足についての課題」「被害者実態調査の各協力員からの呼びかけのお礼と回収率78.7%の報告」「障害のある仲間とのつながりを大切にするためのふれあい活動への協力依頼」「自主的グループ活動、支部活動への参加依頼」「機関紙編集委員会の発足の報告と委員の皆さんへの協力のお礼」等について提案し、承諾を得ました。